

ふう けい き こう  
**風景紀行**  
**池ヶ原湿原**

91

飛騨署

(各署の景勝地等を紹介)

咲き乱れるミズバショウ群

【飛騨署】 本年六月九日（土）に当署管内の飛騨市神岡町森茂地区において、「第四十一回岐阜県みどりの祭り」が開催されました。県は、この日に合わせて、県下で三番目となる魚つき保安林を指定しました。



ミズバショウとリュウキンカ

指定された区域は、飛騨市が所有する宮川町地内の池ヶ原湿原周辺の森林（約十三ヘクタール）です。

当該湿原は、奥飛騨数河川流域岐阜県立公園内にある低層湿原で、標高一千以上の準平原（ニコイ高原）の中央部に位置し、岐阜県の天然記念物に指定されています。



歩道と湿原

春、四月下旬から五月上旬にかけて、約六ヘクタールの湿原に雪解けを待っていたかのように、三十万〜四十万株ものミズバショウが一齐に咲き始め、黄色の花をつけるリュウキンカと織りなす風景は壮観です。この他にもザゼンソウ、キクサギイチゲなどの名脇役達も湿原を彩ります。

夏は、湿原に吹き渡る風が爽やかで、秋には草紅葉やシラカンの赤葉で彩られます。

この湿原に隣接する向洞国有林は、湿原の背景林として池ヶ原風景林としてレクリエーションの森に指定されており、湿原への水の供給と景観の保全に大きく貢献しています。

◆岐阜の宝ものに認定  
 池ヶ原湿原は、岐阜の宝もの認定プロジェクトにおいて、同じ飛騨市の天生湿

原（天生国有林内）と深洞湿原（金木戸国有林内）を合わせ、「天生県立自然公園と三湿原回廊」として、平成二十八年月に「じまんの原石」、平成二十二年二月に「明日の宝もの」、そして平成二十三年十月に「岐阜の宝もの」に認定されました。今後、地域起こしの一つとして一層整備されることとなります。

◆所在地

岐阜県飛騨市

◆アクセス

【家用車】

◎JR高山本線打保駅近くの塩釜金清神社付近から林道（洞数河線）を車で約二〇分。

池ヶ原湿原へのアクセス道路の洞数河線の冬期閉鎖期間（十一月下旬〜翌年四月中旬）



キクサギイチゲ



上記マップの出典：北飛騨の森をあるこうHPより（承諾済み）